

医療法人 ひのでクリニック

24時間いつまでもどこでも
患者様に寄り添い
地域の密着で人々の健康守る



在宅医療に使命感とやりがいを感じています。まずは患者様に信頼していただくことがたいせつ。患者様にはありのままの自分で接しています。



最新の医療機器を持ち込んで、自宅でも可能な限りの医療处置を行なっています。

適切な器具や薬剤を 利用した治療方法

診療を利用するものは、寝たきりのお年寄りや、やむを得ず病院から自宅に戻られた患者様、外出できない患者様などさまざま、1日あたり約15件ほどの診療を行なっています。

そんな多忙な中、2件の訪問診療に同行させていただきました。これは、まだ馴染みないであろう在宅診療の実態を見ていたいみたいという院長と患者様、その家族のご協力がありました。

■ Nさん 70歳代

脳梗塞で寝たきりとなり直腸がんを発症されており、奥様が看病をされています。誤嚥（ごえん）から肺炎になりかけました。

たのを処置し未然に防いでいますが、口からの食物摂取はできないため、胃にチューブを通して栄養補給を行ないます。腹膜炎などの合併症を引き起こすこともあるので、清潔かつ慎重さが大事です。「ほぼ病院と同じことをやつていただけるので助かっています。それと細かいところまで気を使つていただけるのでこちらが気がつかないここまでしていただき感謝しています」と奥様は語られます。

■ Hさん 40歳代

脊髄小脳変性症という運動失調が徐々に進行していく難病を20歳代に発症し、車イスを利用されお母様が看病をされています。病院への通院をされいましたが時間が時間や労力がたいへんなことから自宅での看護に切り替え。筋力の低下により誤嚥の頻度が多くなることもあり危険な状況になつた際には、食道と気管の別離切開手術を提案。知り合いの専門の外科医が執刀し無事に成功して、現在は食事ができるようになり体力も回復しました。

「臨機応変で対応が早いので安心して診療を任せられます。気さくに話していただけるので何でも相談できる家族ぐるみの付き合いですね。息子は先



「ひのでクリニック」は「朝日の当たる場所はどこでも当院の病室である」という思いを込めて。

現役のラガーマンである中村幸泰院長は2004年に訪問診療を専門とした「ひのでクリニック」を開業。外科や消化器外科などを専門としていますが、豊富な医療経験のもと、外来受診をすることが難しい方の診療や末期ガン患者の自宅での看取りまで行なっています。

診療の範囲は、福岡市南区、那珂川町、春日市、大野城市など同院より約5km程で、患者様の前医の先生や協力医療機関との連携を図りながら、患者様の在宅での療養を行なっています。



往診先で電子カルテに入力、その場で処方箋を作成し、患者様に手渡します。



往診には小回りが利くように小型車を利用。街の裏道を知り尽して渋滞を避けます。

福岡市南区を拠点に 在宅での療養のお手伝い

医師たちの思い 在宅医療を支える

クリニックの先生方とネットワークを作ることができます。急患などで手が離せないときにそのネットワークを利用して、お互いに助け合える関係を築きたいんです」と考えていました。急患などで手

中村院長は大学卒業後、全国の病院で医師としての腕を磨き、地元福岡で開業されています。「父の急死に直面し残された施設の継承にあたり、自分が

一番打ち込むことができるのかを熟考した結果、北海道遠別町で水虫から脳内出血まで、50キロ四方に医師2名といふ過酷を極めた状況下で診療した経験を活かすことができ、また、前任のさくら病院で在宅診療を担当した際の温かい患者様の家族の受け入れに感銘を受け、自分を必要としている

場所で働いていることに生きがいを感じ、「一生を捧げるのであれば在宅診療である」と決意されたそうです。そして、もっと深く在宅診療について知りたいと思っていた頃、九州では先駆的に活躍されていた、たけとみクリニックの武富先生と出会い、在宅医療のノウハウを学ばれたとのこと。この出会いは現在の福岡における在宅医療を大きく支えることになりました。

「武富先生や市内の医院、



患者様が楽しみにされていた鈴鹿サーキットのF1レース観戦に同行。患者様の元気で嬉しそうな姿が何よりのご褒美。

患者様と家族の意思を尊重しながら前進の毎日

在宅医療でたいせつなことは、「患者様と家族と医療の信頼関係」。普段から人間関係を深めることに注力しながらも機械的な診療では誰も満足感が得られないのが在宅医療であり、医師が患者様家族の中に入り、顔と顔が向き合つてこそ本当の診療ができるというのが中村院長のポリシーです。またこれまで約300件の看取りを行なつたことから、自然な姿で安らかに住み慣れた家を選ばれるのは社会的な動きでもあるとのこと。これまで培ってきた在宅医療の取り組みに、社会が追い付いてきたのかもしれません。

- 所在地 / 福岡市南区大橋3丁目25番32
- 交通 / 西鉄天神大牟田線「大橋」駅より車で5分、徒歩11分
西鉄バス「地獄」バス停より徒歩2分

- 開設年月日 / 2004年
- 院長 / 中村 幸泰
- 診療科目 / 外科、消化器外科
- 診療時間 / 月～金9:00～18:00
土9:00～13:00
(24時間電話対応)
- 休診日 / 日・祝日

サービス内容

※ひのでクリニックは、車にて患者様のご自宅を訪問し下記の診療を行っています。

- 各種在宅医学管理
 - 定期的な訪問診療
 - 定期的な訪問看護
 - 臨時の往診
 - 臨時の訪問看護
- また、24時間365日連絡対応(緊急時)
後方病院への連絡・紹介も行っております。



●お問い合わせ
092-541-5341

受付/9:00～18:00(無休)
[らくらくを見た]の一言で
問い合わせがスムーズに